

## ▼アザセトロン塩酸塩 静注液 [注] &lt;2022.3 販売中止&gt;

【重要度】★ 【一般製剤名】アザセトロン塩酸塩 Azasetron Hydrochloride 【分類】5-HT3 受容体拮抗薬

【単位】▼10mg/A [2mL]

【常用量】■注射：10mg/回 [最大20mg/日]

■内服：10mg/日 [最大15mg/日]

【用法】1日1回静注・経口。抗悪性腫瘍剤による嘔吐防止の前投薬としてはその30分～2時間前に投与する (1) 追加投与には2時間以上あける

【透析患者への投与方法】腎排泄型のため追加投与および繰り返し投与時には減量を考慮する (5)

【その他の報告】設定されていない (1)

【保存期腎不全患者への投与方法】腎排泄型のため追加投与および繰り返し投与時には減量を考慮する (5)

【その他の報告】設定されていない (1)

【特徴】メトクロプラミドをベースとしたベンズアミド系5-HT3受容体拮抗剤。消化管吸収率が良好。

【主な副作用・毒性】頭痛、消化器症状、肝障害、発熱など

【F】87±8.1% (1) 約90% (Tsukagoshi S: Gan To Kagaku Ryoho 26: 1001-8, 1999 PMID: 10396331)

【tmax】1.5hr (1)

【代謝】肝にてCYP3A4でM1、フラビン含有モノオキシゲナーゼ3 (FMO3) でM2に代謝 (1) M1の活性は未変化体の1/4 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率65～70% [24hr まで] (1, Tsukagoshi S: Gan To Kagaku Ryoho 26: 1001-8, 1999 PMID: 10396331)

【CL】37±3.6L/hr [iv] (1) 腎CL: 25.3±4.0L/hr (1)

【t1/2】2相性に消失し、β相10mg静注時: 4.3hr (1) 【Ke】0.1283/hr (1)

【蛋白結合率】31.2% (1)

【Vd】195±24L/man (1)

【MW】386.27

【透析性】資料なし (1) 分布容積が大きいため、効率的には除去できないと思われる (5)

【O/W係数】0.16 [1-オクタノール/buffer, pH7.0] (1) 【pKa】8.9

【更新日】20240821

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。